

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 平成26年1月10日

【四半期会計期間】 第29期第3四半期（自平成25年9月1日至平成25年11月30日）

【会社名】 株式会社メディカルー光

【英訳名】 Medical Ikkou Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 南野 利久

【本店の所在の場所】 三重県津市西丸之内36番25号
(平成25年12月1日から本店所在地 三重県津市藤方501番地の62が上記のように移転しております。)

【電話番号】 059 - 226 - 1193 (代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役 管理本部副本部長兼経理財務部長 井本 秀景

【最寄りの連絡場所】 三重県津市西丸之内36番25号

【電話番号】 059 - 226 - 1193 (代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役 管理本部副本部長兼経理財務部長 井本 秀景

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第28期 第3四半期 連結累計期間	第29期 第3四半期 連結累計期間	第28期
会計期間		自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日	自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日	自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日
売上高	(千円)	15,331,637	16,901,626	20,574,659
経常利益	(千円)	789,102	872,002	1,036,163
四半期(当期)純利益	(千円)	638,548	496,530	790,939
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	647,075	516,058	852,130
純資産額	(千円)	4,820,723	5,446,031	5,025,777
総資産額	(千円)	15,714,581	17,231,801	15,624,970
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	333.25	259.13	2,622.92
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	30.7	31.6	32.2

回次		第28期 第3四半期 連結会計期間	第29期 第3四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成24年9月1日 至 平成24年11月30日	自 平成25年9月1日 至 平成25年11月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	41.52	80.51

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 当社は、平成24年6月1日付で、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。
4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社及び当社の関係会社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社に異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済・金融政策の効果から円安と株高が進行するとともに個人消費や雇用情勢が持ち直すなど、緩やかな回復傾向にあります。

超高齢社会の進展に伴い社会構造が変化していく中で、医療費抑制を目的とした制度改革等が進められており、医療界及び介護業界におきましては、一層の効率経営が求められております。

このような環境の下で当社グループは、医療や介護サービスの需要が拡大するものと捉え、安全性を最優先としつつ事業規模の拡大に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高16,901百万円(前年同期比10.2%増)、営業利益918百万円(前年同期比9.9%増)、経常利益872百万円(前年同期比10.5%増)となりました。四半期純利益は496百万円(前年同期比22.2%減)となり、投資有価証券売却益を計上した前期に比べ減益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、新規に出店した4店舗と事業譲受による2店舗で6店舗の増加となり、第3四半期末における当社グループの調剤薬局店舗数は87店舗となりました。

これら新規店舗の業績が寄与するとともに、既存店においても処方箋単価が上昇して増収となり、売上高は14,947百万円(前年同期比8.3%増)、営業利益1,117百万円(前年同期比9.1%増)となりました。

ヘルスケア事業

ヘルスケア事業におきましては、介護付有料老人ホーム1施設を新規開業し、施設数は9施設となりました。子会社にて運営する訪問介護事業と合わせ、売上高は1,127百万円(前年同期比31.5%増)となりましたが、新規施設の開業による初期費用の発生により営業利益は61百万円(前年同期比29.1%減)となりました。

医薬品卸事業

医薬品卸事業におきましては、ジェネリック医薬品使用促進策に沿って市場が拡大する中で、積極的な営業活動を展開した結果、売上高773百万円(前年同期比26.7%増)、営業利益68百万円(前年同期比14.3%増)となりました。(内部売上を含む売上高は1,101百万円となり、前年同期比で22.8%増加しました。)

不動産事業

不動産事業におきましては、賃貸不動産からの収入によって、売上高53百万円(前年同期比5.1%減)、営業利益26百万円(前年同期比11.2%減)となりました。

また、投資事業におきまして、株式会社ヘルスケア・キャピタルは投資有価証券売却益22百万円を計上しております。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	6,000,000
計	6,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年11月30日)	提出日現在発行数(株) (平成26年1月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	2,035,000	2,035,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	2,035,000	2,035,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年9月1日～ 平成25年11月30日		2,035,000		917,000		837,050

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年8月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

平成25年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 118,900		
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,916,000	19,160	
単元未満株式	普通株式 100		
発行済株式総数	2,035,000		
総株主の議決権		19,160	

【自己株式等】

平成25年8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社メディカルー光	三重県津市西丸之内36番25号	118,900		118,900	5.84
計		118,900		118,900	5.84

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

(1) 役職の異動

氏名	新役名及び職名	旧役名及び職名	異動年月日
西井 文平	代表取締役副社長 管理本部長	代表取締役副社長 管理本部長兼総務部長	平成25年10月1日
大西 登志和	常務取締役 総務部長	常務取締役 人事本部長兼人事部長	平成25年10月1日
高津 善之	取締役 人事部長	取締役 渉外本部副本部長 兼渉外購買部長	平成25年10月1日
安達 佳之	取締役 薬局事業本部副本部長 兼第五事業部長	取締役 薬局事業本部副本部長 兼第六事業部長	平成25年11月1日

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成25年9月1日から平成25年11月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年3月1日から平成25年11月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,822,521	3,532,511
売掛金	2,272,437	2,684,005
商品	908,309	954,813
その他	208,319	292,058
貸倒引当金	1,100	1,300
流動資産合計	7,210,487	7,462,089
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,614,065	3,943,997
土地	1,815,076	1,924,184
その他(純額)	262,462	702,459
有形固定資産合計	5,691,605	6,570,641
無形固定資産		
のれん	961,954	998,997
その他	177,710	212,686
無形固定資産合計	1,139,664	1,211,683
投資その他の資産		
投資有価証券	526,703	804,817
敷金及び保証金	436,734	520,282
その他	619,775	662,286
投資その他の資産合計	1,583,212	1,987,386
固定資産合計	8,414,482	9,769,712
資産合計	15,624,970	17,231,801
負債の部		
流動負債		
支払手形	8,848	6,145
買掛金	2,872,475	3,338,792
1年内返済予定の長期借入金	1,865,413	1,959,536
未払法人税等	320,129	255,789
賞与引当金	117,342	2,422
その他	380,433	1,104,898
流動負債合計	5,564,643	6,667,584
固定負債		
長期借入金	4,477,543	4,495,349
退職給付引当金	334,529	364,334
その他	222,476	258,501
固定負債合計	5,034,548	5,118,185
負債合計	10,599,192	11,785,769

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	917,000	917,000
資本剰余金	837,050	837,050
利益剰余金	3,401,478	3,802,204
自己株式	199,265	199,265
株主資本合計	4,956,262	5,356,988
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	69,514	89,043
その他の包括利益累計額合計	69,514	89,043
純資産合計	5,025,777	5,446,031
負債純資産合計	15,624,970	17,231,801

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
売上高	15,331,637	16,901,626
売上原価	13,629,585	15,082,197
売上総利益	1,702,052	1,819,428
販売費及び一般管理費	866,534	901,111
営業利益	835,517	918,316
営業外収益		
受取利息	568	541
受取配当金	10,208	8,560
助成金収入	3,182	900
業務受託料	3,436	2,798
その他	4,219	4,427
営業外収益合計	21,615	17,227
営業外費用		
支払利息	57,761	51,482
その他	10,269	12,059
営業外費用合計	68,031	63,541
経常利益	789,102	872,002
特別利益		
固定資産売却益	1,595	-
投資有価証券売却益	521,162	22,696
補助金収入	-	52,221
その他	9,231	-
特別利益合計	531,989	74,917
特別損失		
固定資産売却損	-	729
固定資産除却損	23,893	515
減損損失	¹ 33,591	-
固定資産圧縮損	-	52,221
賃貸借契約解約損	431	1,000
店舗閉鎖損失引当金繰入額	61,080	-
投資有価証券売却利益返還額	47,061	-
特別損失合計	166,058	54,466
税金等調整前四半期純利益	1,155,032	892,452
法人税、住民税及び事業税	611,800	466,500
法人税等調整額	95,315	70,577
法人税等合計	516,484	395,922
少数株主損益調整前四半期純利益	638,548	496,530
四半期純利益	638,548	496,530

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	638,548	496,530
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,527	19,528
その他の包括利益合計	8,527	19,528
四半期包括利益	647,075	516,058
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	647,075	516,058

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

(偶発債務)

下記の団体の金融機関からの借入に対して、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
医療法人財団公仁会	119,429千円	93,792千円

(四半期連結損益計算書関係)

1 減損損失

前第3四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年11月30日)

当社グループは以下の資産グループにおいて減損損失を計上しております。

場所	用途	種類	減損損失(千円)
大阪府大阪市	店舗	建物及び構築物等	23,703
三重県松阪市	開局準備中の店舗用資産	建物及び構築物等	9,887

当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最少単位として主に店舗を基本単位とし、不動産事業に係る資産及び遊休資産については個別物件を基本単位としてグループ化しております。

平成24年12月に閉鎖を決定した店舗及び売却を決定した開局準備中の店舗用資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額33,591千円を減損損失として特別損失に計上いたしました。その内訳は建物及び構築物18,446千円、その他15,144千円であります。

なお、資産の回収可能価額は店舗については使用価値により、開局準備中の店舗用資産については正味売却価額により測定しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年11月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
減価償却費	238,262千円	275,331千円
のれんの償却額	73,499千円	76,661千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年11月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年3月29日 取締役会	普通株式	95,805	5,000	平成24年2月29日	平成24年5月8日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年11月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年3月28日 取締役会	普通株式	95,805	50	平成25年2月28日	平成25年5月1日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	調剤薬局 事業	ヘルスケア 事業	医薬品卸 事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,807,983	857,318	610,258	56,076	15,331,637		15,331,637
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,435	274	286,478		288,188	288,188	
計	13,809,419	857,592	896,737	56,076	15,619,825	288,188	15,331,637
セグメント利益	1,024,395	87,255	59,846	30,068	1,201,565	366,048	835,517

(注) 1 セグメント利益の調整額 366,048千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用370,172千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「調剤薬局事業」セグメントにおいて、閉鎖及び売却を決定した店舗の資産について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額33,591千円を減損損失として特別損失に計上しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	調剤薬局 事業	ヘルスケア 事業	医薬品卸 事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	14,947,342	1,127,772	773,280	53,231	16,901,626		16,901,626
セグメント間の内部 売上高又は振替高		274	327,984		328,258	328,258	
計	14,947,342	1,128,046	1,101,264	53,231	17,229,884	328,258	16,901,626
セグメント利益	1,117,808	61,901	68,387	26,695	1,274,793	356,476	918,316

(注) 1 セグメント利益の調整額 356,476千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用365,556千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
1株当たり四半期純利益金額	333円25銭	259円13銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	638,548	496,530
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	638,548	496,530
普通株式の期中平均株式数(株)	1,916,100	1,916,100

(注) 1 当社は、平成24年6月1日付で、普通株式1株に付100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

2 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年 1月 8日

株式会社メディカルー光
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 水 野 信 勝 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 西 原 浩 文 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社メディカルー光の平成25年3月1日から平成26年2月28日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成25年9月1日から平成25年11月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年3月1日から平成25年11月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社メディカルー光及び連結子会社の平成25年11月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。